

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0161-1208, サービス名称: 資産会計クラウドサービスProPlus for C-x, 事業者名称: 東京センチュリー株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須 2018/7/2
- 事業所・事業				
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須 東京センチュリー株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須 1969年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)	必須 49年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須 東京都千代田区練堀町3番地 (〒101-0022)
	事業所数(国内、国外)		必須 国内 16ヶ所	
	主な事業所の所在地		必須 東京都(3ヶ所) 神奈川県(1ヶ所) 埼玉県(1ヶ所) 北海道(1ヶ所) 宮城県(1ヶ所) 静岡県(1ヶ所) 愛知県(1ヶ所) 石川県(1ヶ所) 京都府(1ヶ所) 大阪府(1ヶ所) 兵庫県(1ヶ所) 岡山県(1ヶ所) 広島県(1ヶ所) 福岡県(1ヶ所)	
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須 賃貸事業 割賦販売事業 営業貸付事業 その他の事業
- 人材				
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須 浅田 俊一
			代表者写真	選択 記述無し(*)
			代表者年齢	選択 記述有り(*)
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択 記述無し(*)
7	役員	役員数	選択 記述有り(*)	
		役員氏名及び役職名	選択 記述有り(*)	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択 記述無し(*)
- 財務状況				
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須 482,859,000,000(単位円、2018/3/31現在)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択 記述有り(*)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須 34,231,000,000(単位円、2018/3/31現在)
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述有り(*)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
15	財務信頼性	上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択 記述有り(*)
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択 記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0161-1208, サービス名称: 資産会計クラウドサービスProPlus for C-x, 事業者名称: 東京センチュリー株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
17	決算公告	決算公告の実施の有無	選択	記述有り(*)
- 資本関係・取引関係				
18	資本関係 株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	記述有り(*)
19	取引関係 大口取引先	大口取引先の名称	選択	記述無し(*)
20	取引関係 主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	記述有り(*)
21	取引関係 所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	記述有り(*)
- コンプライアンス				
22	組織体制 コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	記述有り(*)
23	組織体制 専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	記述有り(*)
24	文書類 情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称	必須○	情報セキュリティ基本方針 情報セキュリティ基本規程 情報セキュリティ委員会運営手続 情報取扱い外部委託手続 情報セキュリティ手続
		上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
25	文書類 勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択	記述有り(*)
		上記の文書類の経営陣による承認の有無		記述有り(*)
26	文書類 ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須	C-x運用マニュアル
		上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
- サービス基本特性				
27	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	資産会計クラウドサービスProPlus for C-x
28	サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2011年10月1日
		サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		無し
29	サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つの中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス
30	サービス内容 サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	ProPlus for C-xとは、企業等の固定資産・リース資産及び建設仮勘定の減価償却費や支払リース料の計算、残高管理、財務・税務上必要となる各種帳票やデータの集計・出力業務、現物管理業務等、企業の固定資産管理に関連する各種業務を強力に支援するクラウドサービス(SaaS)です。 1. 頻発する会計・税務の制度変更に対応 2. 新リース会計やIFRSの自社処理が可能 3. 利用中の会計システムやERPとデータ連携 4. 既存データと管理体系を完全移行可能 5. システム保有コストをゼロ化し期間総費用も大幅に圧縮。柔軟な帳簿作成、電子文書管理にも対応 6. 総合資産管理サービスC-xとの併用により、部門毎に散在する保有資産の現況情報を一元管理

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0161-1208, サービス名称: 資産会計クラウドサービスProPlus for C-x, 事業者名称: 東京センチュリー株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>		有り 3つのオプションサービスを提供 1. 電子帳票サービス(セキュアな電子書庫での帳票等の長期保管) 2. 遠隔地バックアップデータサービス(ディザスターサービス) 3. データ提携サービス(お客様の既存システムとデータ提携を可能にするための専用Web フォルダの提供)
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	原則カスタマイズは行わず、標準機能での提供。
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	(告知時期) 2ヶ月前
		告知方法		電子メール・書面・当社ホームページ等への記載
33	サービスの変更・終了	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	有り 本事業から撤退の場合、既存顧客に対して、本事業にかかるサービス提供義務が存続している期間は、当該サービス提供が継続できるよう努力する。
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		有り 本事業から撤退の場合、既存顧客に対して、本事業にかかるサービス提供義務が存続している期間は、当該サービス提供が継続できるよう努力する。
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		有り 顧客の希望があれば対応
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有り C-xサポートセンター(専用フリーダイヤル及び専用メールアドレスを用意) 月～金(祝日及び12/29～1/4除く) AM9:00～17:00(11:45～13:00除く)
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	IDの追加及びDISK使用量追加で従量課金
		固定部分の課金方法		サービスの種類及び登録資産件数に応じてライセンス費用が発生。
36	料金体系	初期費用額	必須	個別見積
		月額利用額		月額8.6万円(税別)～(固定資産若しくはリース資産モジュール単体で、かつ管理資産件数は5千件以内の場合)
		最低利用契約期間		原則5年
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	有り 解約日から最低利用期間満了日までの残期間に対する利用料金相当額
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	有り 1ヶ月前
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	期間:2017年4月1日～2018年3月31日 稼働率:100%
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン1 対象参照値99.5%以上
		サービス停止の事故歴		期間:2017年4月1日～2018年3月31日 事故歴:無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0161-1208, サービス名称: 資産会計クラウドサービスProPlus for C-x, 事業者名称: 東京センチュリー株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	記述有り(*)
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		記述有り(*)
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	記述有り(*)
42	サービス品質 認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	記述有り(*)
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	本サービス遂行のため利用者より提供を受けた個人情報は、本サービス遂行目的に範囲内でのみ使用し、第三者に開示又は漏洩しないことをサービス利用規約で明示しています。
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	記述有り(*)
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		記述有り(*)
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	毎日 データ(DB及び顧客作成の帳票・出力データ(PDF・CSV・他)等)
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	2世代
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	記述有り(*)
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	記述有り(*)
48	SLA (サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	添付される(契約のオプションとして利用者へのSLA報告を省略することも可能です)
49	サービス利用量 利用者数	申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数 (同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	選択	記述有り(*)
50	代理店数	申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数	選択	記述有り(*)
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容 サービスを実現する主要ソフトウェア	主要ソフトウェアの名称	必須	ProPlus
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	企業等の固定資産・リース資産及び固定資産となる前の建設仮勘定の減価償却費や支払リース料の計算、残高管理、財務・税務上必要となる各種帳票やデータの集計・出力業務、現物管理業務等、企業の固定資産管理に関連する各種業務を強力に支援するシステムです。 ProPlusには主に「固定資産管理」・「リース資産管理」・「建設仮勘定管理」・「棚卸サブシステム」の4つの機能があります。
52	主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	株式会社プロシップ
53	連携・拡張性 他システム等との連携方法	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	選択	記述有り(*)
		標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。  
(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0161-1208, サービス名称: 資産会計クラウドサービスProPlus for C-x, 事業者名称: 東京センチュリー株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
54	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	アプリケーション 5分間隔 プラットフォーム・サーバ 5分間隔 ストレージ 障害発生時に即アラート検知 情報セキュリティ対策機器 障害発生時に即アラート検知 通信機器 障害発生時に即アラート検知
		障害時の利用者への通知時間		サポート時間内での障害発生時 1時間以内 サポート時間外での障害発生時 最初に到来するサポート時間開始後1時間以内
	障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有り
	時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	NTP
	ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	ウイルスチェック 有り パターンファイル更新時間 日次
	記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	有り 利用者ログを取得、保存期間12ヶ月(ログは顧客が閲覧可能)
	セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	原則パッチ適用は年3回程度実施(緊急のパッチについては、個別対応)
- ネットワーク				
60	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	IDC(サービス提供拠点)と利用者との間のユーザ接続回線は、責任を負わない。
61	推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	有り 1.5Mbps以上
62	推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	windows
		利用するブラウザの種類	必須	internet Explorer FireFox Google Chrome
63	ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	有り
64	不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	有り
65	ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	記述有り(*)
66	ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○	有り
67	ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	IDパスワードによるログイン認証に加え、クライアント認証を受けた特定のPCだけがProPlus for C-xのログイン画面にアクセスできます
68	管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○	有り
69	なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須	有り クライアント認証を受けた特定PCだけがProPlus for C-xのログイン画面にアクセスできます
70	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択	記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0161-1208, サービス名称: 資産会計クラウドサービスProPlus for C-x, 事業者名称: 東京センチュリー株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	必須	専用
72		所在地	必須	日本(関東)
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須
	免震構造や制震構造の有無		有り(耐震構造+免震構造)	
74	非常用電源設備	無停電電源	必須	無停電電源装置有り 電力供給時間 10分
75		給電ルート	必須	否 同一変電所からの3ルートスポットネットワーク受電
76		非常用電源	必須	自家発電機有り 連続稼働時間 24時間
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	有り インーージェン式消火設備
78		火災感知・報知システム	必須	有り 煙探知器、熱探知器、超高感度煙感知器
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	有り 避雷針有
80		誘導雷対策	必須	有り 制限電圧 1000V以下 放電耐量 100KA
81	空調設備	十分な空調設備	選択	記述有り(*)
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	有り 保存期間 10年保存
				有り 稼働時間 24時間365日 監視範囲 入退路および、ラック間通路 保存期間 90日
		個人認証システムの有無	有り ICカード付与による認証	
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	無し
		保管管理手順書の有無		無し
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0161-1208, サービス名称: 資産会計クラウドサービスProPlus for C-x, 事業者名称: 東京センチュリー株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- サービスサポート				
85	サービス窓口 (苦情受付)	連絡先	必須○	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先 TEL 03-5209-6610 FAX 03-5296-5224 Web https://www.tokyocentury.co.jp mail Proplus_support_ps@tokyocentury.co.jp 利用者にはサポート専用フリーダイヤル及びメールアドレスあり
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		有り 名称:株式会社プロシップ 所在地:東京 連絡先 TEL 03-5805-6121 FAX 03-5805-6127
86	サービス窓口 (苦情受付)	営業日・時間	必須	月曜から金曜 (祝日及び12月29日から1月4日までを除く) AM9:00~AM11:45 PM13:00~PM17:00
		メンテナンス実施時間		原則 サービス提供時間外に実施 (但し、緊急のメンテナンスはサービス提供時間内に実施する場合あり)
87	サービス窓口 (苦情受付)	サポート対応	選択	サービスサポートの稼働率の実績値 (単位: %)
		放棄率の実績値 (単位: %)		記述有り (*)
		応答時間遵守率の実績値 (単位: %)		記述有り (*)
		基準時間完了率の実績値 (単位: %)		記述有り (*)
88	サービス窓口 (苦情受付)	サポート範囲	必須	本サービスの利用方法に関する質問への回答および助言 本サービス用ProPlusアプリケーションにおけるマイナーバージョンアップへの対応 本サービス用設備におけるソフトウェアの更新版の提供
		サポート手段 (電話、電子メールの返信等)		電子メール・書面・当社ホームページ等への記載
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	サービス提供上重要な機器については冗長化 利用者アクセスに関しては自動負荷分散を実施
90	サービス保証・継続	事故発生時の責任と補償範囲	必須	有り ProPlus for C-xサービス利用規約
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述) 1週間前
		告知方法		電子メール・書面・当社ホームページ等への記載
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有り
92	サービス通知・報告	障害・災害発生時の通知	必須○	有り
93	サービス通知・報告	定期報告	必須	有り

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。